新潟社会保険事務所が東・西の二か所に

みなさんの国民年金・厚生年金・健康保険などの業務を扱っている新潟社会保険事務所が、七月一日から東・西の二か所に分かれました。

近年、新潟市周辺の地域は都市化現象が一段とすすみ、人口はそれに比例して急増しています。これに伴って、新潟社会保険事務所で取り扱う事務量は、予想以上のテンポで増加してきました。

このような社会情勢に対応するとともに、住民サービスの向上を図るため、七月一日から、いまの新潟社会保険事務所を新潟西社会保険事務所と改称しました。同時に、新潟市米山に新潟東社会保険事務所があらたに開設され、七月から新津市の国民年金・厚生年金などはここで扱っています。

新潟東社会保険事務所
新潟市米山一丁目三番四号
☎〇二五二―41―八八三三
〒九五〇

○新潟駅正面から東側連絡通路経由　徒歩　7分

○バスご利用の方は、弁天橋～長潟線　笹口2丁目下車
古町～江南高校線　笹口2丁目下車

福祉年金証書をお返しください

八月は福祉年金証書を返す月です。福祉年金を受けている人は、八月期の年金を受けとったらすぐに年金証書を市民課国民年金係へお返しください。

これは、八月分からむこう一年間の支給額を決定し、国民年金証書に年三回の支給金額を記入するためのものです。

証書の提出がおくれると、次の年金支給月である十一月がきても、年金の支払いを受けられません。くれぐれもご注意ください。

なお福祉年金証書を市役所に返すとき、先日お送りした「定時申立書」のハガキも一緒にお持ちください。

あなたも青年ゼミナールへ

「青年ゼミナール」に参加してみませんか。「青年ゼミナール」は、毎週金曜日の午後七時三十分から九時三十分まで、市民会館を会場に次のような内容で開かれています。

①ふるさとを考える
中世の遺構・東島城や越後遺民一撥の古戦場・菩提寺山、日印ゆかりの妙蓮寺、金津の白玉の滝、秋葉の七色の池にまつわる伝説などを学習します。また、実際に現地へ出かけてみたりもします。

②仲間づくり
スポーツやキャンプ、ほかのサークルとの交歓会などを通じて仲間づくりを進めます。

③バードカービング～木彫りの鳥を作ろう～
ジェルトンという、やわらかくて加工しやすい木材を工作用カッターナイフで削って作ります。〝むずかしくて手も足も出ない〟というようなものではありませんが、かといって〝何の苦もなく出来てしまう〟というわけでもありません。それだけに、手作りの楽しさがあります。

※お問い合わせ・お申し込みは公民館(☎2―九六六六)へ。

本が大好きな中学生集合！

図書館では、八月から毎月一回、中学生の読書会を始めます。本の好きな中学生の皆さん、名作、SF、ルポルタージュなどさまざまな本を読んで、みんなと話し合ってみませんか。

八月の読書会の日程は次のとおりですが、二回目以降の読書会の期日と内容は、当日、話し合いで決める予定です。

♡とき…八月十七日の午前十時～正午
♡ところ…図書館読書会室
♡対象…中学校一年生の男女十名
♡内容…名作、SF、ルポルタージュ
♡申し込み…八月十五日までに図書館(☎2―〇〇九七)へ

十六ミリ映写機操作技術認定講習会―※

十六ミリ映写機操作技術認定講習会が開かれます。ご参加ください。

この講習会を受け、検査に合格すると県教育委員会から認定証が交付され、映写機やフィルムを使用して活動することができます。

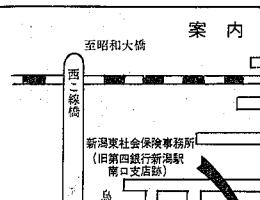
♡とき
・第一回…八月十、十一日の午前九時～午後四時
・第二回…八月二十四、二十五日の午前九時～午後四時
♡ところ…視聴覚センター
♡費用…受講料は無料ですがテキスト代として五百円必要
♡申し込み…第一回は八月八日までに、第二回は八月二十二日までに視聴覚センター(☎2―〇二〇一)へ

お買物、ご用命は市内で

安田火災海上サービスセンター
あなたの安心を企画する　有限会社 樋口保険企画
新津市金沢町3丁目7番20号　電話 02502（2）6774番
？損保豆知識？
新潟県の自動車対人賠償保険の普及率は50.9％（54年度末）です。事故にあった時、相手の半分は自動車保険に加入していない事になります。……苦しむのは〈被害者〉〈加害者〉両方です。

動物の診療・予防・検査・諸手術・入院
預り・健康管理　〈月曜日休診・急患随時〉
ニイツ動物病院
獣医師　白杉友義・獣医師　白杉多恵子
新津市本町2丁目7番21号　☎2-5976・4-6262
（総合結婚式場「一楽」より五泉方面へ200m左側）

明治夜話



豪快！中野こう子

(64) 鶴ケ城

婦女薙刀隊の入城後の様子はどうであったであろうか。依田菊子は入城後の彼女等の仕事については、先ず、

「それから籠城三十日間、私共はズッと城内で、手負の世話看護、汚れ物のお洗濯、水汲み、兵糧運び等何くれとなく働きましたが、私共一同は矢張引続き男姿でおりました。」

と前置きし、婦女連の中でも、中野姉妹の母の中野こう子の働きについて、

「城内の食事は玄米のお握飯に味噌を附けた物でありましたが、或時、中野こう子様と御一緒に手負の方のお手当を致して居ました中に、お腹が空いて来ましたので、このお握飯を戴かうとしました時に、こう子様は臆だらけの手で其儘お握飯を取上げようとせられるので、私共が、

「余り甚いから御洗ひになって」と申しました処が、

「ナニ臆など、何とも無ぐなった」と云はれて、其儘の御手で平気でお握飯を食べて居られました。

まことにお豪い方でしたが、まだ豪かった事は、或時の事、手負の方々の膿のベタベタに附いた着物をセッセと洗濯して居られた所へ落ちて火になる焼砲弾が、直ぐこう子様の傍へ落ちましたのを、こう子様は素早く盥の水を打ち撒けて消されたので、火事にならないで済みましたが、それが消されなかったら、其処等に沢山居た手負の人達は、皆焼け死んだ事でありませう。

この時のこう子様の働き、その落着いた大膽な、そして機敏なお働きは、まことに当時城中での賞讃の的となられたのでありました。」

之はまた一説に、或日、負傷者の血膿に染んだ衣類を本丸の泉水で洗って、之を笊に入れて廊下を歩いていた時、口火のついた焼弾が落ちてきて、将に破裂しようとした寸前に、孝子が笊の中の衣類で之を包み、池の中へ投げ込んだので大事に至らずに済んだとも伝えられている。

このような事が容保公のお耳に入り、こう子は御前に召し出され、お褒めの御言葉を賜わった上に、

「その方は酒を嗜むということだが、之にて過ごせよ。」

と大杯に御酒をなみなみと賜わった。

こう子は有難く御礼を申し上げ、それを一息に飲み干してしまったので、殿様をはじめ、成り行き如何と固唾をのんで見守っていた人々も、

「女ながらも天晴れ」と褒めやしたという。

補説　廿三日の入城に遅れた理由について不審の点のあることを前に述べたが、之は次の一文によって、先ず母親を農家に避難させるために手間取ったためらしいということが分った。

「妾共もかねて用意の仕度にかかりますと、母の八重子（は）かねての覚悟なりとて、出陣の支度を始めました。元来母はなかなか気丈夫な人でありましたが、早や六十歳に近き老体なれば、妾共姉妹は漸く之を諫め、女中と共に農家に避難させました。

これにて一安心と、先づ髪を切って、しっかと束ね、白鉢巻に白襷をかけ、義経袴を穿ち、一刀を横たへ、薙刀を掻い込み、姉と共に目ぼしき太刀四、五振を抱へ、大急ぎにて我家を出ましたが、城門は既に鎖されて入ることが出来ず、又同志の人達を訪う隙もなければ詮方なく弾丸の中を潜って西の方へと走りました。」

（昭和四年改訂増補『会津戊辰戦争』）

鶴ケ城の女達（二）

阿達　義雄

尤も、水島（依田）菊子刀自談は高齢になってからの談話であったためか、前後に多少の違いのあることに注意すべきである。例えば婦女隊の入城の時の護衛者について、荘田三平氏が菊子刀自の談話を筆記した一文には、「案内者に伴はれ、城の北出丸の棟門より本丸に入り」（大正十五年発行『補修会津白虎隊伝』の中の「殉節婦人」の条）とあるが、八十一歳の時の談と八十五歳の時の談を比較してみると、

(1)「……萱野様より附けられた二名の御侍に護衛され、城下に入り、大町通より割場（より）西追手門に至り、侍の合言葉にて開門させ、漸く入城いたしました。」（昭和四年改訂増補版『会津戊辰戦争』）

(2)「六人の鉄砲を持った男の方に護って頂いて、城門へ往って、此方から山と云ふ、彼方からは川と云ふ合言葉で城門を開けて呉れました。」

（昭和七年八月廿一日『日曜報知』所載「会津婦人従軍の思出」）

即ち、前に北出丸であったのが後には西追手となり、（案内者に伴はれ）→（二名の御侍に護衛され）→（六人の鉄砲を持った男の方に護って頂いて）というように変っているから、当事者の談にしても注意すべきであろう。

なお、これが昭和十四年になると、右に拠って書かれたものと思われるが、神崎清氏の『会津戦争婦人隊士顛末記』には、六人が十八人にされて次のように記されている。

「高瀬村へ引揚げた婦女隊は、家老萱野権兵衛の勧誘もあり、八月二十八日、鉄砲を持った足軽十八名に護衛されて、巧みに官軍の包囲網を潜り、北出丸の棟門から山と川との合言葉で無事入城することができた。」

（昭和14・10発行『新女苑』）

六人から十八人への飛躍は余りにもひどいので、よく考えてみると、「六人」と書かれてあった原稿の文字の「六」が十と八とに分割された誤植の一例であろう。

（新潟大学名誉教授）

お買物、ご用命は市内で

今年の夏は「春雨」のビアホールで!!
《総合結婚式場》春祥殿
降っても晴れても、涼しい室内での冷たい生ビールの味は又格別です。春雨ならではの料理も抜群――ご来店お待ち申し上げます。■毎夕5時～9時・3階ホール
秋のご婚礼予約、承っております。
春雨
本町1(駅前)　●ビアパーティのご予約は…☎2-1600(代)